

高瀬神社 社報

越中一宮

第30号

平成23年7月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 輝氏

社頭講話

「結い」ということ

宮司 藤井秀弘

春の日は駿足で過ぎ、今は梅雨の季節。時々差し込む晴れ間の日差しは、若葉から青葉に変わった木々の葉を照らし、夏の訪れを感じさせます。

毎日報道されている東日本大震災の復興の様子や暑い中、避難生活をされている映像を見るにつけ心が痛みます。一日も早く、もとの生活ができるよう心から祈っています。

五月中旬に植えられた水稲がもう三十センチほどに生長しています。少し前の当地方では、田植えをはじめとする農作業を近所の人たちと協力して行うことを『え』といいました。最近では機械が進み、大勢で作業しなくてもよくなり、『え』という言葉がどこかに消えてしまったように思います。この言葉の語源は「結い」からきており、少しづつ訛って『え』となったと考えられます。「結い」の意味は、田植えなどの

時に互いに力を貸し合うことであり、力を貸す人のことです。万葉集のなかに『山守之有家留不知尔其山尔標結立而結之 辱為都』という歌があり、ここに「結い」が出てきます。昔から私たちの先祖は農作業に限らず、苦しいことや、辛いことなどを分け合い、助け合いながら今日まで様々な文化を守り伝えてきました。

六月下旬のテレビ番組で世界遺産である岐阜県白川郷の合掌造りの屋根葺き替え作業特集していました。この屋根は萱葺で、材料の萱が大量に必要です。それぞれの家に萱場があり、秋になると家族揃って萱刈りをします。この作業を何年か繰り返し、材料を備蓄します。材料が揃ったら葺き替え工事になります。作業には人手が多く必要です。即ち、労働力が必要になり、ここで「結い」ということが出てくるのです。自分の家の葺き替えが

終わると、手伝ってくれた人の家に手伝いに行く。労働賃金に関係なく勤労奉仕することを「結い」という、と番組で解説していました。葺き替え作業に集まった人は五百人で、一日がかりで終了しました。全員に日当を支払うとしたら、一体いくらかかるのでしょうか。とても合掌造りを維持していけないと思います。

飛騨地方には昔から「結い」という風習があるようです。助け合う、協力する、お互い様という豊かな心、これらは日本人が古来、伝承してきたことであり、日本人一人一人が持っている国民性というべきものではないかと思えます。この根底には農耕文化が大きく影響していると考えます。

現在、農業を取り巻く環境はもとより、都市に暮らす人たちの生活環境も変化してきています。個人主義が蔓延している日本の社会で今、見直さなければならぬことは、この「結い」の精神ではないでしょうか。今回の大震災は大きな被害を

もたらしましたが、その後の復興作業の様子を目にするたび、ボランティアの人たちの尊い活動や被災者同士の支えあう姿など、忘れ去られようとしていた「結い」の精神が復活してきているように思いました。物理的・精神的に大きな被害を蒙りましたが、捨て去ってはいけない日本人の大切なものを再確認させられる機会となりました。我々、日本人は昔から物心ともに良いものをもっているのに合理性や経済性を優先し、それらを軽視するようになりました。「災い転じて福となす」。この機会を捉え、全国民が「結い」の精神で復興に取り組み、予想以上のスピードで回復できると信じています。

国民のお手本とならなくてはならない政治家が未だに自分勝手な発言をして、「結い」の精神から程遠い様子を見るにつけ、本当に日本人なのだろうかと思いたくなります。本当にしっかりとほしいものです。

暑中お見舞い申し上げます



祭 事 曆

金 婚 祭



四月八日、高瀬地区老人クラブ連合会(川田義治会長)の会員約七十名が参列し、「金婚祭」

が斎行されました。

宮司の祝詞奏上後、神楽舞「胡蝶の舞」が奉奏されました。金婚を迎えられたご夫妻には、川田会長より金婚祝証と記念盃が贈呈されました。また、本年も祭典に先立ち清掃奉仕が行われ境内が清められました。あわせて宮司による講演会が参集殿にて行われました。



(金婚者)

- 開 修身・敏子ご夫妻(高砺瀬市)
- 杉下善一・久子ご夫妻(南砺市)
- 野村生夫・倫子ご夫妻(北砺市)
- 久田久伸・静恵ご夫妻(南砺市)
- 三浦孝正・麻子ご夫妻(南砺市)
- 三浦清東(三浦清東)

祈 年 穀 祭

六月十日、農協関係者をはじめ約四十名の参列のもと「祈年穀祭」が斎行されました。

まず御神前で忌火が点火され、宮司の祝詞奏上につづき砺波地区農業協同組合協議会(佐野日出男会長)からの幣帛が供えられ、参向使の小橋昭夫となみ野農業協同組合常務理事により祭文が奏上されました。



忌火は宮司から参向使に手渡され、境内大鳥居前に備えられたかがり火に点火され、参列者一同により害虫の被害無く豊作になるよう祈念しました。

また、多年にわたり農業の発展に寄与された四氏に「根尾宗四郎氏・上田又一氏遺徳顕彰事業」により農事功労表彰が送られました。

(農事功労表彰者)



元となみ野農業協同組合役員
谷田 弘敏氏
(南砺市苗島)



元いなほ農業協同組合役員
竹島 勝彦氏
(高岡市福岡町開ほ)

元いなほ農業協同組合役員
沼田 元氏 (小矢部市新西)

元となみ野農業協同組合役員

中居 安治氏 (砺波市五郎丸)

※尚、中居安治氏は去る五月三十日に急逝されました。衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

御神山「牛岳」のこと

開山祭・例祭

御神山である「牛岳」の開山祭・例祭が去る六月六日、標高九八七メートルの奥宮で斎行され、宮司と巫女が祭典を奉仕しました。

本年も富山市側と砺波市側の二つの登山口より約八十名の登山者が入山し、今年の登山の安全を祈りました。

参列者には「おはぎ」や「山菜おこわ」などが振る舞われ初夏の楽しい一時を過ごしました。



シリーズ

高瀬の今昔 ⑨

「末社・境内のこと」

高瀬神社の御本殿には、主神に大己貴命（大國主命）、配祀（同じ社の中に、主神とともに祀る神様）に天活玉命、五十猛命をお祀りし、末社の功霊殿には、旧東・西砺波郡内の戦没者並びに地方開拓功労者の御霊をお祀りし、高瀬稻荷社には、伏見稻荷大社（京都）から勧請した御分霊をお祀りしております。末社とは、神社の社格（格式）の一つで、本社に付属するお社として境内の内や外に建てられます。当神社には現在、昭和二十四年に功霊殿、同五十年に高瀬稻荷社が創建され鎮座しておりますが、昭和十六年までは天照大御神をお祀りする神明宮（流造、柿葺、覆舎あり）、級長戸辺命をお祀りする風宮（堂社造、瓦葺）も境内末社として鎮座し、毎年六月十九日に「末社・風宮例祭」、十一月十三日に「末社・神明宮例祭」として斎行されてきました。

この両宮は昭和十六年四月二日、井波地域特有の「井波風」と呼ばれる八乙女山から吹き下ろす大風によって倒れ



た樹木により倒壊。境内では樹齢数百年の巨木が四十数本根返りし、拝殿にもたれかかると等、甚大な被害を受け、御神体は本殿にお祀りする事となりました。

昭和十六年の大風から約七十年、両宮の再建には至っておりませんが、御神体は現在も本殿に祀られ、厳粛に祭儀を行っております。



社ごきわい

献花式

高瀬遺跡保存協会（竹村武夫会長）主催の「第三十七回 菖蒲まつり」が、六月二十五・二十六日に開催され、両日共梅雨の合間の好天に恵まれ、大勢の人出で賑わいました。

開催に先立ち、拝殿では「献花式」を斎行し、菖蒲を御神前に供え、関係者一同による「まつり」の成功を祈願しました。

祭典後、ボイスカウトによる「オーブニングパレード」が高瀬遺跡まで行われ、会場では、氏子の雅楽会「鳳鳴クラブ」をはじめとする各種団体の清興がありました。また同時開催の「南砺吟道大会」に漢詩を寄稿された斎藤彰岳氏に宮司より表彰状と記念品が贈呈されました。



献穀田だより

「御田植祭」斎行

本年も井波地域中核農業士協議会（池田喜昭会長）により「高瀬神社献穀田」が奉耕されます。

去る五月二十一日、本年奉耕者の岩崎修氏（南砺市岩屋）の水田で「御田植祭」が斎行されました。

宮司の祝詞奏上に続き、神田が祓清められ、五名の早乙女により「コシヒカリ」の苗が丁寧に植えられました。



九月中旬の「抜穂祭」で刈り取られる稲は御神前にお供えされるほか、伊勢の神宮へも「懸税」として奉献されます。



本年早乙女奉仕者

- 西田 瑠璃さん (福光高校)
- 岩本祐季奈さん (井波中学)
- 沢田絵莉奈さん (井波中学)
- 佐野 佑季さん (井波中学)
- 横江 胡桃さん (井波中学)

参拜日誌抄

(平成二十三年三月〜五月・敬称略)

「三月」

七日

泉穴師神社（泉大津市）

宮司 津守康有

以下三十三名

十日

門真市神社総代会 一八九名

十一日

(株)サンセイキ

(安全祈願)

十二日

若江鏡神社（東大阪市）

宮司 奥野 紀

以下二十三名

十八日

日枝神社 宮司 平尾旨明

富山県西部森林組合 五十名

(安全祈願)

十九日

大木白山社

榎宜 高尾宗清

社会福祉法人白皇保護園

救護施設八尾園

園長 西浦 博

二十五日

献穀田種粍清祓式

五日

南砺市シルバー人材センター

四十八名(安全祈願)

富山県西部森林組合利賀支所

五十名(安全祈願)

六日

神社庁砺波支部役員会

八日

氏子清掃奉仕(村総出)

高瀬地区老人クラブ連合会

(金婚奉告祭) (清掃奉仕)

中越パッケージ(株) 十名

(安全祈願)

十一日

富山県神道青年会執行部四名

(就任挨拶)

十二日

(社)北陸電気保安協会

となみ野事務所 二十一名

(安全祈願)

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

十五日

神道青年全国協議会

監事 上田正宙

二十六日

越乃神社(婦中町)

宮司 二宮 啓 以下四名

二十七日

パルスエンジニアリング(株)

(創立記念日)

「四月」

二日

井波歴史民俗資料館

館長 林 律子

(就任挨拶)

「五月」

九日

熊野本宮大社

権祢宜 岡崎 崇

十一日

南砺市交通安全協会

(春の交通安全祈願祭)

十二日

庄川SC安全協議会三十二名

十三日

立正佼成会(清掃奉仕)

十五日

南砺市交通安全協会高瀬分会

十八日

秩父神社

宮司 藺田 稔
(社)秩父宮会

会長 井上 久

以下四十名

十八日

神社庁砺波支部研修会

団体参拝のご案内

事業所の安全祈願・創立記念日等の各種祈願を随時受け付けております。

詳細は社務所までおたずね下さい。

(初穂料)

一〇、〇〇〇円



ご結婚おめでとうございます

昨年十二月から本年五月までご婚礼の御儀を執り行われた皆様です。

(挙式日、時間順、敬称略)

(十二月)

四日

大浦 大輔

十二日

生駒 直久

松平 和晃

春香

(二月)

十一日

松田 俊輔

このみ

十三日

村西 徹也

麻由

二十六日

猪原 智之

智子

(三月)

三日

小野 雅文

智恵子

五日

松田 譲二

麻美子

二十日

荒岡 孝茂

明子

柴田 尚彦

裕美

二十六日

松井 寿哉

めぐみ

二十七日

広本 治樹

香奈子

(四月)

一日

山口 拓哉

佳奈

九日

平野 さゆり

大

十七日

安居 志誠

美里

二十三日

今井 敦徳

美里

二十七日

武田 篤史

安津子

九日

柴田 佳徳

幸穂

十七日

山下 哲弘

和美

二十三日

竹山 恵吾

美紀

長岡 英伸

賀英子

山本 裕介

二十三日

中島 寿通

優美子

山上 千春

二十九日

松原 勇気

香織

三十日

長田 一徳

典子

(五月)

四日

森 弘明

わか

十四日

蟹野 浩一

茜

二十二日

松田 繁樹

絵里香

二十八日

西尾 尚喜

奈々

二十九日

源 雄一

里美

二十九日

北川 幸治

英美

二十九日

式部 左近

貴子

二十九日

宮崎 知子

勇

二十九日

竹端 秀海

美紀子

お二人の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

ご案内

七夕祭

八月七日(日)

午後三時より齋行

短冊配布期間七月二十日より

短冊は外拝殿にあります。

どうぞご家族お揃いでご参拝下さい。



例祭

九月十三日(火)

午前十時より齋行

御本社に
つづき功靈
殿大祭を齋
行いたしま
す。

おさそい
あわせの上、
ご参拝下さ
い。



第四十九回奉納剣道大会

九月十八日(日)

午前九時より

奉告祭ののち、境内前庭にて
開催します。

砺波地区内の小中学生・高校
生剣士の熱戦が展開されます。
応援をお願いします。



第三十八回献茶式

十月三十日(日)

午前十時齋行

(お茶席・二席)
午前八時三十分

(ご奉仕)
午後二時三十分

古儀藪内流 竹風会
(茶券)

一枚三千元(短冊・点心付)

七五三詣

本年は次の通りです

- 七歳(女子) 平成十七年生
- 五歳(男子) 平成十九年生
- 三歳(男女) 平成二十一年生

元服祝(男子)

十五歳(平成九年生)

髪上祝(女子)

十三歳(平成十一年生)

いのち 戌の日(安産祈願)

- (七月)六日・十八日・三十日
- (八月)十一日・二十三日
- (九月)四日・十六日・二十八日
- (十月)十日・二十二日
- (十一月)三日・十五日・二十七日
- (十二月)九日・二十一日

腹帯のお祝いも行いますのでご持参下さい。

御祈禱

家内安全・交通安全・初宮詣・
厄除・人生儀礼など「御祈禱」
は毎日午前八時三十分より午後
四時三十分まで随時受け付けて
おります。

祭典・結婚式等でご奉仕でき
ない時間帯もありますので、事前
に社務所までおたずね下さい。

奉納

○「境内剪定作業」

小矢部市津沢

(株)越路ガーデン

代表取締役 西尾倫顕

以下十二名

平成二十三年六月七日

※恒例の奉仕作業ですが、本年もさ
わやかな境内にして頂きました。

編集後記

「東日本大震災」にて、私も
五月以降二回程、被災地へ入り、
復興のお手伝いをさせて頂いただ
きました。惨状を目の当たりに
し、言葉も出ませんでした。が、
被災者の方々に、かえって元氣
と希望を頂いてきました。これ
からも出来る限り支援をさせて
いただきます。

幸いにも当地方は日々平穩に
過ごすことが出来ますことに、
神々に感謝しております。

これから暑い夏を迎えます
が、氏子・崇敬者の皆様にはご
自愛いただきますことをご祈念
いたしております。

表紙写真

閑乗寺公園からの夕日

発行日 平成二十三年七月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒923-0102 富山県南砺市高瀬二九二

TEL 〇七六三二八二一〇九三三 FAX 〇七六三二八二一三〇四

編集人 浦

泰宏

印刷所 牧印刷株式会社

ブライダルフェア 及び 相談会

7月

S	M	T	W	T	F	S
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

8月

S	M	T	W	T	F	S
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9月

S	M	T	W	T	F	S
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

- 一宮フェア
- 相談会
- 絆フェア
- ブライダル試食会

神前式リハーサル体験会

越中一宮
高瀬神社では
毎月一の付く日に
一宮フェアを開催！

「一日」
「十一日」
「二十一日」
「三十一日」

十三時、十四時、十五時



一宮フェア開催中
要予約



ブライダル試食会
8月21日(日) 開催時間 12時～17時

11時～神前式セミナー
12時～婚礼料理 and スイーツ試食会

相合は無料だよ
～ご予約～

予約は原紙日券で受付しております。

耳寄り情報

相談会を予約した方にはプレゼントがもらえるヨ



全国にあなたのお花をお届けします

「Enjoy 60! Happy Rose」 60歳以上のあの人に。

“人生の節目のシーンにバラを贈る”
いつもお世話になっているあの方へ
大切に想っているあの人へ
愛するあの人に
感謝の気持ちとこれからの声援をバラにこめて…



富山県南砺市寺家新屋敷366
TEL 0763-22-1417
FAX 0763-22-6388